

## 平成 29 年度 家庭科シラバス

科目名	服飾手芸	学年	3年次	教科書	特になし
		単位数	4単位	副教材	服飾系専門書等より資料作成
学習目標	わが国、各国の手芸の種類と変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。				
学期	学習内容		学習のねらい		課題・提出物予定等
前期	4	<b>★服飾手芸を学ぶにあたって</b> <b>★各国の手芸の種類について</b> <b>★縫いものの基本</b> ・用具の名称 ・手縫い(並縫い・本返し縫い・半返し縫い・まつりぐけ・ボタンつけ等) ・ミシンの操作(下糸の巻き方・上糸のかけ方・糸調子・返し縫い・直線縫い・角での方向の変え方等)	2 4 8	・手の技から生まれる身近な作品を作る喜びと、主な手芸の種類・技法を紹介し、様々な技法があることを知らせる。 ・基本的な手縫いの技術、ミシン縫いの技術を身につけることによりこれから作る作品が、より丁寧に美しく能率的に仕上がるようにする。 ・縫い物の基礎的な技術を身に付ける。	前期の評価は被服製作技術検定の4級の結果及び各種作品の提出を持ってあてる。
	5	<b>★被服技術検定4級取得に向けて</b>  <b>★被服技術検定4級受験</b>	16  12	・手縫いの技術を生かして、作図案どおりに縫う、アイロンかけの技術を身につける。 ・これまで学んできた学習内容の基礎的な部分の習得を確認するとともに、資格取得をさせることによって生徒の学習意欲を高める。	
	6	<b>★被服製作3級取得に向けて(ショートパンツの製作)・・・3級</b>	10 20	・前期で学んだ内容を生かしながら被服検定3級に挑戦し、より高度な技術の習得に挑戦する。 ・4級の基礎的な技術を発展させ、被服製作および衣生活の経営に生かせる能力を身につける。	
	7	<b>★被服技術検定3級受験</b>	10 20	・前期で学んだ内容を生かしながら被服検定3級に挑戦し、より高度な技術の習得に挑戦する。 ・4級の基礎的な技術を発展させ、被服製作および衣生活の経営に生かせる能力を身につける。	
	9			・これまで学んだ手芸の技術を応用・発展させ、自分の作りたい作品に挑戦することにより、よりレベルアップした技能・技術を身につける。	
後期	10 11	課題 <b>★甚平・女物単衣長着の製作</b>	42	・これまで学んだ手芸の技術を応用・発展させ、自分の作りたい作品に挑戦することにより、よりレベルアップした技能・技術を身につける。	作品の提出をもって評価する。
	12	<b>★自由作品の製作</b>	26		
評価の方法・観点		評価の観点とは、関心・意欲・態度をベースに、技術検定の可否、製作作品の評価、出席状況等を総合的に評価する。			
留意事項		・技術の個人差による進度の調整を図る。 ・教材費の範囲内で様々な検定試験の受験と作品製作ができるよう工夫する。 ・家庭総合で学んだ洋裁技術のレベルアップを図る内容とする。			